

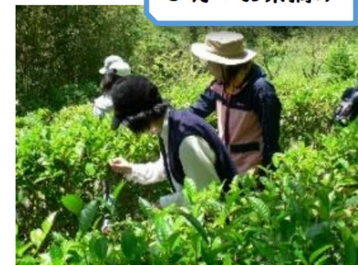
■教育支援センター

概要	不登校児童生徒等に対する支援を行うために、教育委員会及び首長部局が教育センター等学校以外の場所や学校の余裕教室等において、学校生活への復帰や社会的自立を支援するため、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談指導（学習指導を含む。）を行う組織として設置したもの。
設置数	県内 25 市町村 27カ所（令和6年7月現在）
対象児童生徒	不登校やその傾向にある小・中・義務教育学校の児童生徒 地域や状況によって、中学校卒業後の子どもについて受け入れる場合もある。
登録者数・通所人数	登録319名、通所124名（令和6年7月現在）
主な活動内容 (学習支援・体験活動)	教科等の学習（プリント、ドリル、タブレットを活用した学習等） 体験・交流活動（野外活動、スポーツ、ものづくり、小集団でのレクリエーション等）
特徴的な取組例	<ul style="list-style-type: none"> ・通所コース、個別コース、学習コースなど自主性や社会性が育まれるよう、保護者や学校と連携しながら支援 ・高校生や中学校卒業後の進路が未定の子どもを対象とした柔軟な受入体制 ・他地域の教育支援センターと連携した取組
学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・退職教員を指導員として雇用 ・管理職と連携 ・SSWによる学校訪問 ・学校の担当を決めている ・校内サポートルームと連携 ・SC、SSW、家庭、学校等の参加者による支援会を定期開催 ・学校からの個別相談への対応 ・学校の支援会への参加 ・教育支援センター運営委員会を行い、各校1名の運営委員が出席 等
スタッフ	所長、支援員、SC、SSW等で構成、11市にはアウトリーチ型SCの配置もある。 所長は、教育支援センターと教育研究所の所長を兼ねている市町村もある、
費用	無料
備考	教育支援センターからの報告書等に基づき、在籍校の校長の判断によって出席扱いになっている。

■教育支援センター活用にあたっての課題（教育支援センター訪問時の聞き取りや連絡協議会参加者アンケート等より）

- 授業配信や支援会への参加、通所生への関わり方などについて、学校との連携が十分に進まない場合がある。
- センターまで距離が遠い子どもは通いにくい。送迎できる仕組みがあれば、より多くの子どもが利用できる。
- ICTを活用した学習や体験、交流活動の実施状況については地域によって差が大きい。

5月：お茶摘み



高知市教育支援センター
「みらい」HPより

夏休みのお楽しみⅠ

海洋生態調査に行こう!!

日時：7月23日（火）
9：30出発 14：00帰着
※小雨決行
場所：香南市手続

＜服装・持ってくるもの＞
お弁当・自分の体を冷やすもの
長袖・長ズボン・運動靴・帽子
タオル・水筒・持っている人は釣りざお・バケツ
*日焼けに強い人はサンングラスや
日焼け止めクリームをお忘れなく！

あつきね!
紫外線対策もしっかりね!

7月16日（火）までに
参加アンケートで申込んでください。

香美市教育支援センター「ふれんどる一む」

香美市教育支援センター
「ふれんどる一む」HPより